

分水北小学校の現状と 今後の在り方に係る 進捗説明会

令和7年11月8日

燕市教育委員会

分水北小学校の今後の在り方とは・・・

分水北小学校の在り方検討委員会の開催について **燕市HP**

下記のとおり第2回委員会を開催いたしました。

事務局より、分水地区小学校の児童数と学級数の推移等について説明し、その後、委員の皆さまからご質問等をいただきました。

- 日時：令和7年8月4日（月曜日）午後3時30分から
- 会場：分水北小学校
- 内容：小学校2校で統合する案と3小学校で統合する案のメリット・デメリット 他
- 対象者：分水北小学校の在り方検討委員会の委員の皆さま
- 参加者：12人

島上小学校の在り方検討委員会委員（敬称：略）

分水北小学校の在り方検討委員会委員名簿

氏名	選出区分	氏名	選出区分
遠藤 英和	識見を有する者	大野 郁子	市立学校長
阿部 文夫	地域住民、自治会等の地元関係者	久保田 理美子	教育委員会が必要と認める者
山田 富秋		佐久間 理美	
竹之内 義徳		鷲澤 彩加	
板屋 廣久		西片 恵美子	
木村 瑞枝	市立学校の保護者	小川 真琴	

- [燕市立学校の在り方検討委員会設置要綱\(PDFファイル:87KB\)](#)

分水北小学校の在り方検討委員会 報告

「分水北小学校の在り方検討委員会 報告」を発行しています。分水北小学校の今後の在り方に関する情報を保護者・地域の皆さまにお知らせいたします。

- [分水北小学校の在り方検討委員会報告第2号\(PDFファイル:404KB\)](#)
- [分水北小学校の在り方検討委員会報告第1号\(PDFファイル:452.3KB\)](#)

【燕市では】

複式学級となることが見込まれる段階において、「燕市建物系公共施設保有量適正化計画」に基づく学校教育施設の見直し及び子どもたちのより良い教育環境に関する検討を行うため、「燕市立学校の在り方検討委員会(分水北小)」(以下「委員会」という)を令和7年6月に設置

【委員会では】

- 学校の適正規模、適正配置について協議し、市教育委員会に提言する
- 任期は委嘱された日から提言を行った日まで

これまでの委員会では、複式学級の学習形態や環境をふまえると、子どもたちのためには、複式学級ではなく、統合した方が良いという意見が多数を占めている。

分水北小学校の在り方検討委員会 報告

第1号 令和7年7月8日
発行：燕市教育委員会 学校教育課

～保護者や地域の皆さまと、分水北小学校の今後の在り方について協議を始めました～

分水北小学校では、地域の児童数が減少し、令和9年度以降は二つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況となります。このことを踏まえ、市教育委員会では、分水北地区の子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、地域や保護者の皆さまと話し合う「分水北小学校の在り方検討委員会」を始めました。
「分水北小学校の在り方検討委員会」の様子は、「分水北小学校の在り方検討委員会 報告」をおとして皆さまにお知らせしていきます。
本号（1号）では、6月23日（月）に開催しました「第1回分水北小学校の在り方検討委員会」の様子や配付した資料について、お伝えします。
市教育委員会は、地域や保護者の皆さまからご意見をいただきながら、今後の分水北小学校の在り方について検討していきたいと考えています。ぜひご意見をお聞かせください。

分水北小学校の在り方検討委員会 報告

第2号 令和7年8月18日
発行：燕市教育委員会 学校教育課

～分水北小学校の今後の在り方に関する検討状況をお知らせします。～

分水北小学校の在り方検討委員会報告第2号では、第2回検討委員会での協議概要を中心にお知らせいたします。

第2回 分水北小学校の在り方検討委員会

日時 令和7年8月4日（月）午後3時30分から
会場 分水北小学校 ランチルーム
議題 (1) 報告

- 分水北小学校の在り方検討に係るあおい保育園年長児保護者等の会合内容
- 分水地区小学校の児童数と学級数の推移等について



▼
燕市HP
分水北
小学校の
在り方検討
委員会



分水北小学校の児童数・学級数の推移と今後の見込み (R7.5現在)

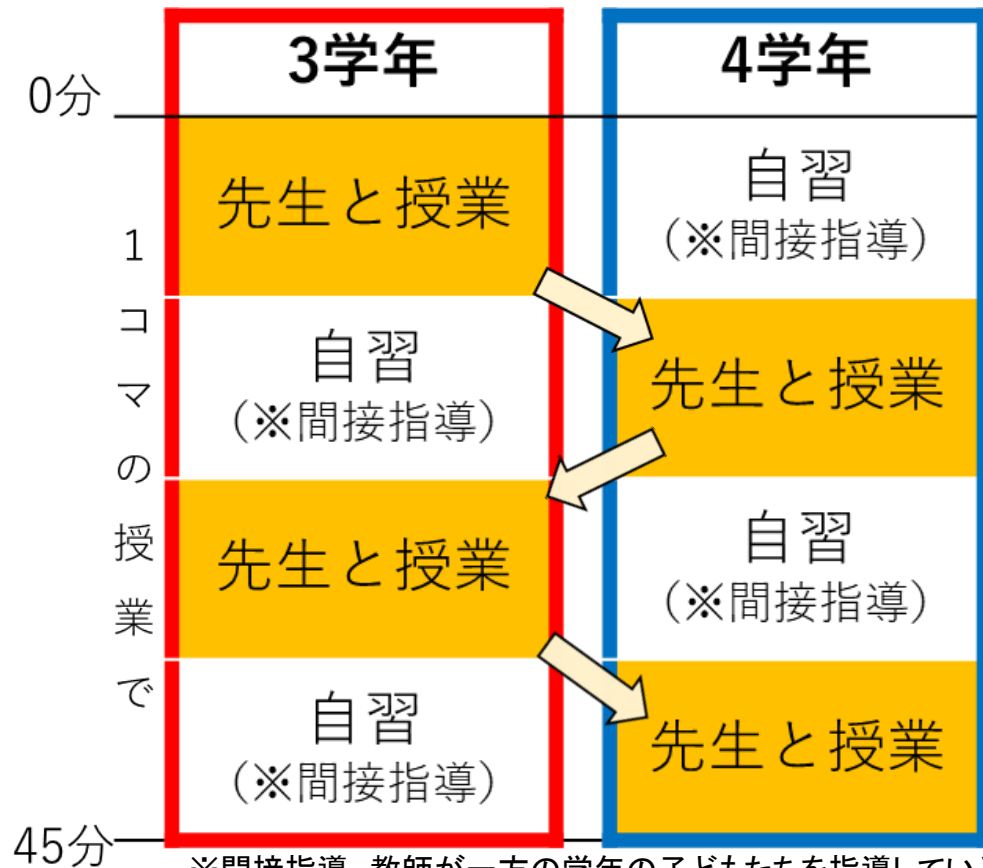
年度	項目	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	備 考	
令和7年度	人 数	9	13	14	11	17	13	77	複式学級 引き続く2つの学年の児童数の合計が16人以下(ただし、新1学年を含む場合は8人以下) ※新潟県学級編制基準	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		
令和8年度	人 数	7	9	13	14	11	17	71		
	学級数	1	1	1	1	1	1	6		
令和9年度	人 数	5	7	9	13	14	11	59		複式学級：1学級 (2・3学年)
	学級数	1	1	1	1	1	1	5		
令和10年度	人 数	14	5	7	9	13	14	62		複式学級：1学級 (2・3学年)
	学級数	1	1	1	1	1	1	5		
令和11年度	人 数	4	14	5	7	9	13	52	複式学級：1学級 (3・4学年)	
	学級数	1	1	1	1	1	1	5		
令和12年度	人 数	6	4	14	5	7	9	45	複式学級：1学級 (4・5学年)	
	学級数	1	1	1	1	1	1	5		
令和13年度	人 数	7	6	4	14	5	7	43	複式学級：2学級 (2・3学年、5・6学年)	
	学級数	1	1	1	1	1	1	4		



複式学級とは（3学年・4学年の複式学級の例）

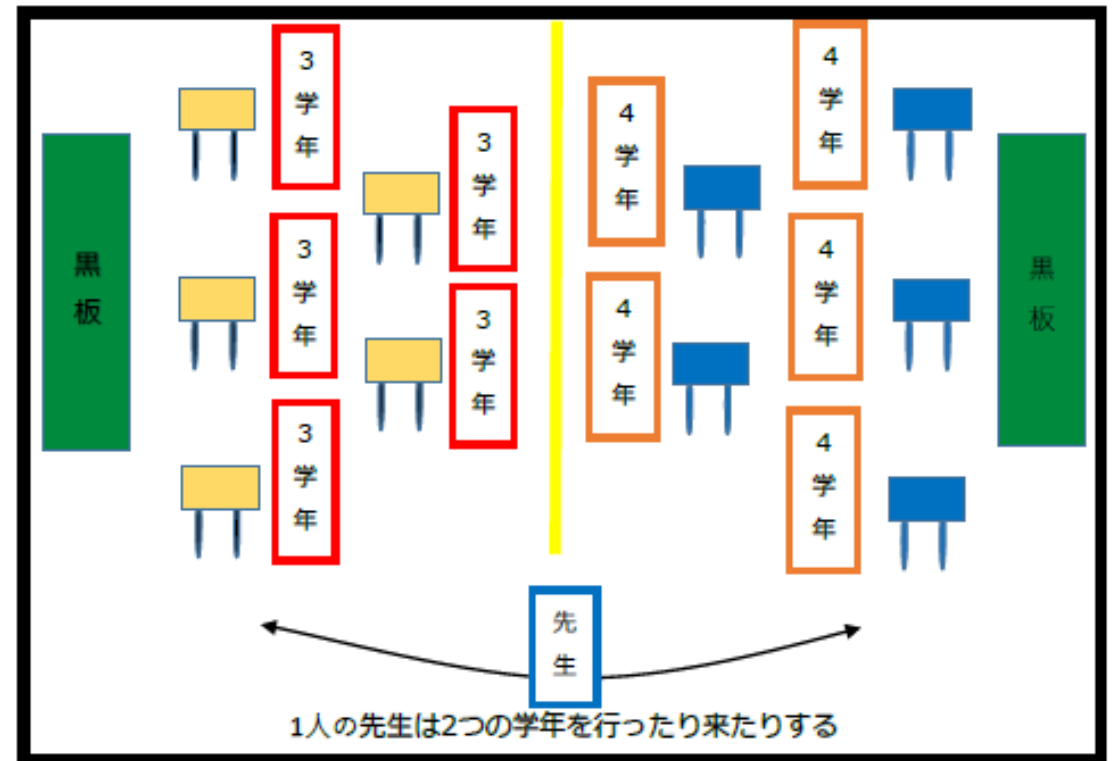
▼ 複式学級の学習の進め方の一例

1人の先生が学年間を交互に移動して指導するため、教科によっては、児童だけで学習を進めなければならない時間がある。



※間接指導 教師が一方の学年の子どもたちを指導している間、もう一方の学年は子どもたちだけで学習を進めること。

▼ 複式学級の教室配置（1つの教室の中の前後で配置する）



複式学級では

想定されること

- 異年齢同士の協力的な態度を養いやすい
- 一人ひとりの存在感や役割を持たせやすく、リーダー性を育てやすい
- 自分たちで学習を進めていく場面が多く、自主的、協力的な学習態度を育てやすい

課題となること

- 少人数のため、多様な考えにふれたり、話し合いを通して学びを深めたりする機会が不足がちになる
- 大きな集団での社会的経験の場や機会が不足がちになる
- 年齢や学年が異なるため、個々の能力差や個人差が大きい
- 学年別指導の場合、教師の直接的な指導を受ける時間が少ない

分水北小学校の在り方検討委員会からの報告

2つの小学校での統合案と、3つの小学校での統合案を並行して検討

分水北・島上小学校の2校で統合した場合の児童数と学級数の推移について(R7.5現在)

	項目	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		全校		備考
		分水北	島上	分水北	島上	分水北	島上	分水北	島上	分水北	島上	分水北	島上	分水北	島上	
R9	人数	5	8	7	6	9	13	13	10	14	13	11	6	令和8年の上半期までに、 統合が決定した場合、教諭1人が追加で配置され、 複式学級を回避することが可能	52	54
	通常学級数	13	13	22	23	27	17	1	1	1	1	1	1			
R10	人数	14	12	5	8	7	6	9	13	13	10	14	13	令和14年度以降、 再度複式学級が生じる見込み	45	52
	通常学級数	26	13	13	22	23	27	1	1	1	1	1	1			
R11	人数	4	5	14	12	5	8	7	6	9	13	13	10	そのため、 再度、学校の在り方を検討	106	6
	通常学級数	9	26	13	13	22	23	1	1	1	1	1	1			
R12	人数	6	8	4	5	14	12	5	8	7	6	9	13	令和14年度以降、 再度複式学級が生じる見込み	45	52
	通常学級数	14	9	26	13	13	22	1	1	1	1	1	1			
R13	人数	7	3	6	8	4	5	14	12	5	8	7	6	そのため、 再度、学校の在り方を検討	43	42
	通常学級数	10	14	9	26	13	13	1	1	1	1	1	1			
R14	人数	A	B	7	3	6	8	4	5	14	12	5	8	令和14年度以降、 再度、学校の在り方を検討	36+A	36+B
	通常学級数	C	10	14	9	26	13	1	1	1	1	1	1			
		D	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	72+C	5+D	

※児童数は特別支援学級在籍児童数を含む

○：統合しなかった場合に複式学級になる学年

分水北小学校の在り方検討委員会からの報告

2つの小学校での統合案と、3つの小学校での統合案を並行して検討

分水地区小学校の3校で統合した場合の児童数と学級数の推移について(R7.5現在)

	項目	1学年			2学年			3学年			4学年			5学年			6学年			全校			備考				
		分水北	島上	分水	分水北	島上	分水	分水北	島上	分水	分水北	島上	分水	分水北	島上	分水	分水北	島上	分水	分水北	島上	分水					
R9	人数	5	8	54	7	6	59	9	13	49	13	10	45	14	13	73	11	6	62								
	通常学級数	67			72			71			68			100			79										
R10	人数	14	12	52	5	8	54	7	6	59	9	13	49	13	10	45	14	13	73								
	通常学級数	78			67			72			71			68			100										
R11	人数	4	5	45	14	12	52	5	8	54	7	6	59	9	13	49	13	10	45	52	54	304					
	通常学級数	54			78			67			72			71			68			410							
R12	人数	6	8	28	4	5	45	14	12	52	5	8	54	7	6	59	9	13	49	45	52	287					
	通常学級数	42			54			78			67			72			71			384							
R13	人数	7	3	33	6	8	28	4	5	45	14	12	52	5	8	54	7	6	59	43	42	271					
	通常学級数	43			42			54			78			67			72			356							
		2			2			2			3			2			3			14							

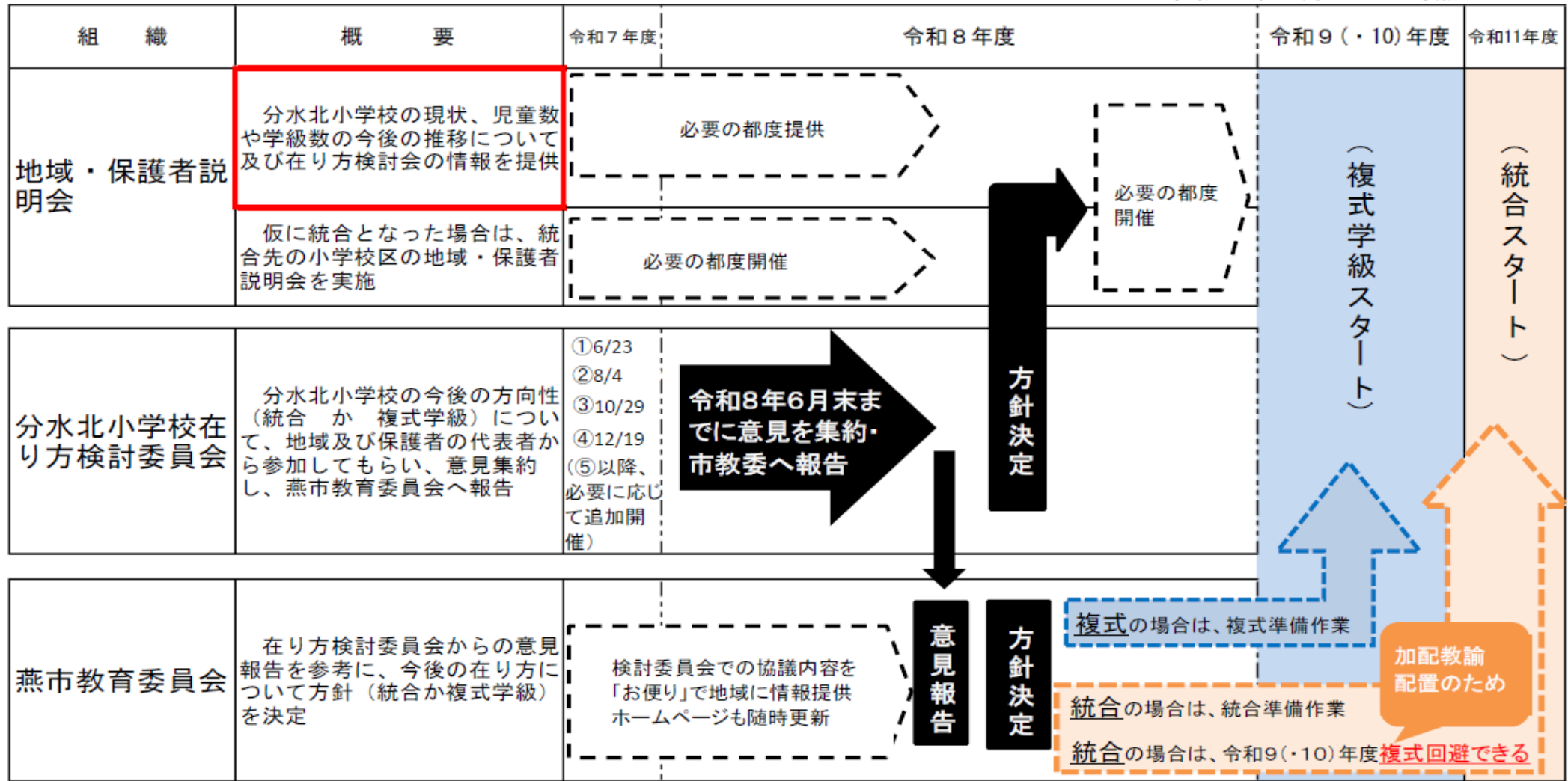
令和8年の上半期までに、統合が決定した場合、教諭1人が追加で配置され、複式学級を回避することが可能

統合
令和14年度以降も当面、複式学級が生じない見込み

※児童数は特別支援学級在籍児童数を含む

分水北小学校の在り方検討のスケジュールについて

令和7年11月8日 時点



※ 当該スケジュールは、あくまでも現時点でのものであり、今後変更が生じることに留意願います。